取扱説明書

DAYTONA corp.

R79232①/⑥

*取り付けする前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使いください。
*この取扱説明書は、いつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。
*この商品もしくはこの商品を取り付けた車両を第三者に譲渡する場合は、必ずこの取扱説明書も併せてお渡しください。

VELONA　スピード （電気式スピードメーター）	適応車種	商品NO.
	汎用	79232/79234 90631/90632

■ご使用前に必ずご確認ください■

※ 取扱説明書内の注意事項を守らずに使用した事による事故や損害について、当社では一切の責任は負いません。
※ 商品の保証については保証書裏面の保証規定に沿って行っております。保証内容をご理解のうえ、この取扱説明書と一緒に保管してください。

⚠警告	要件を満たさずに使用しますと、 死亡または重傷に至る可能性が想定される場合を示してあります。
 実施	・ 走行前にハーネスの取り回しメーターの固定に異常が無いことを必ず確認してください。確認を怠ると重大な事故につながる場合があります。 ・ 走行中に異常が発生した場合は直ちに車両を安全な場所に停車させ異常個所を点検してください。

⚠注意	要件を満たさずに使用しますと、 傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。
 実施	・ メーターの取り付け位置、作動状態によっては道路交通法および保安基準に抵触する可能性が有るため、必ず専門の知識を持った整備工場でのお取り付けをお願いいたします。
 禁止	・ この商品は直流１２Ｖ専用品となっております。それ以外の電源を持つ車両には接続しないでください。故障の原因となります。
 その他	・ この商品は完全防水ではありません。メーターケース内の温度差や雨天などの湿度の高い日は、ガラス面が曇る場合があります。曇りに関するクレームは受けかねますので予めご了承ください。 ・ この商品は他の当社ミニメーターシリーズとは照明色に多少の違いがあります。照明色の違いによるクレームは受けかねますので予めご了承ください。
 分解禁止	・ このメーターは非分解式です。危険ですので分解、改造はしないでください。また照明のＬＥＤは交換できません。
 感電注意	・ 取り付け作業前に、必ずバッテリーのマイナス端子を外してから作業を行ってください。ハーネスの結線中にショートすることがあり、感電の危険や車両火災の原因になります。

2014/03/19

不適合条件　＜※以下の条件にあてはまる場合は正常に作動しません。＞

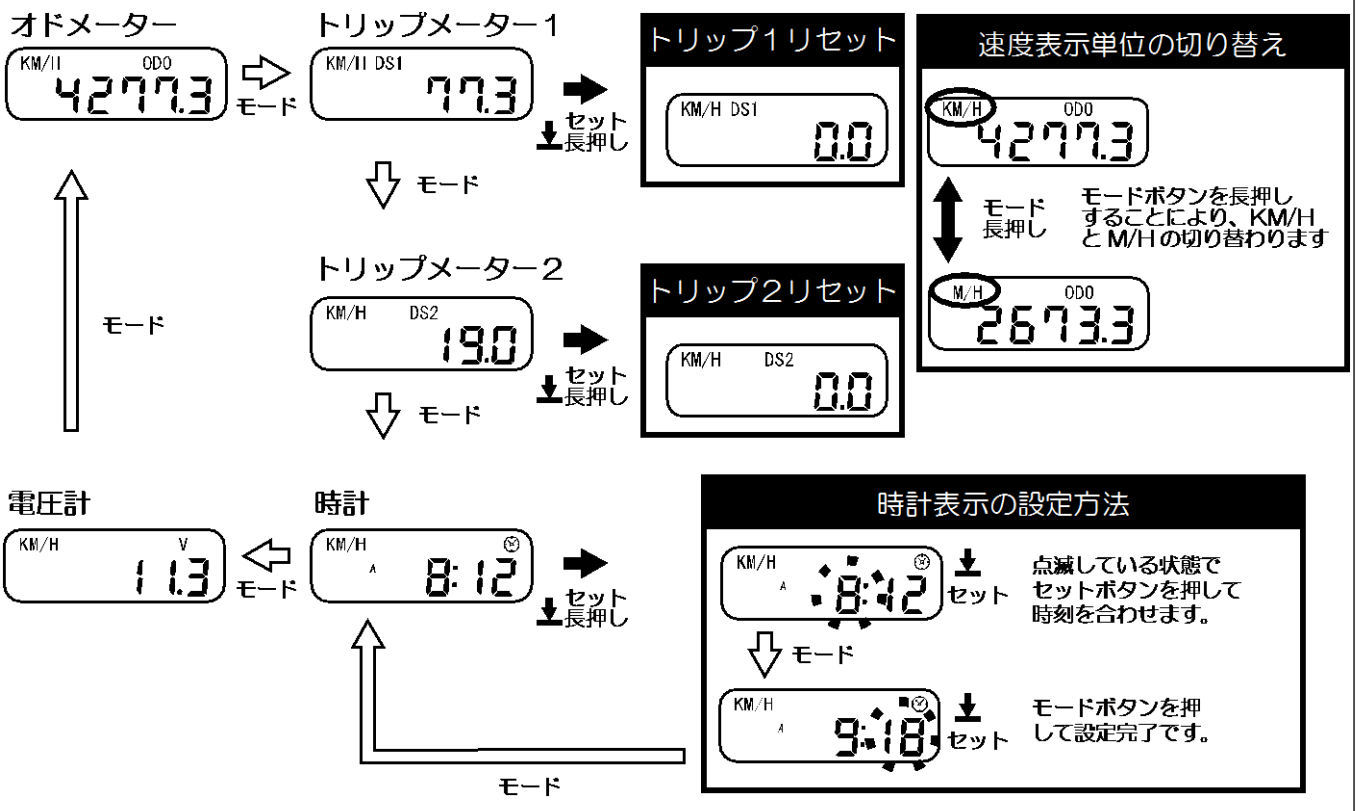
- バッテリーが弱っている場合。（セルモーターが回る場合でも、電圧が不安定な場合は正常に作動しません。）
- バッテリーレス車両。
- ポイント点火車両。
- 交流１２Ｖ電源のみの車両。（ＡＰＥ、モンキーＲ等）
- ６Ｖ車両。（１２Ｖにコンバートしたモデルも含む）
- 乾電池からの電源。（電圧の低下が早いため安定作動しません。）
- 発電～充電部分の電装を改造している車両。（エンジンとメインハーネスが車両本来の組み合わせではない場合、レーシングアウターローター等の発電部分の改造、またバッテリーを小型化している場合は、所定の安定した電圧がメーターに供給できず、針の暴れや回路の故障を引き起こします。）
- 純正メーターＵＮＩＴ内にオートバイを制御するような回路が内蔵されている車両や、純正メーターを取り外すことによって車速センサーへの電源供給が断たれてしまう車両。
- 車種固有の専用回路が採用されているなど、純正電気式スピードメーターの車速センサーから０Ｖ-５Ｖ交互パルス信号をピックアップ出来ない車両。（ハーレーの ECU 後のパルスやシャドウ系の 0-5-12 パルス等）
- エンジンやマフラーなどを改造し極端に振動が大きくなっている車両。（針が振れてしまう場合があります。）

本商品の特徴

- ボディ全長（厚さ）約４３mm：スリムボディのφ６０ＬＥＤミニメーター。
- LCD モニターでＯＤＯ／TPIP／電圧／時計の情報表示が可能。
- ステッピングモーターの採用で高精度を実現。

商品内容

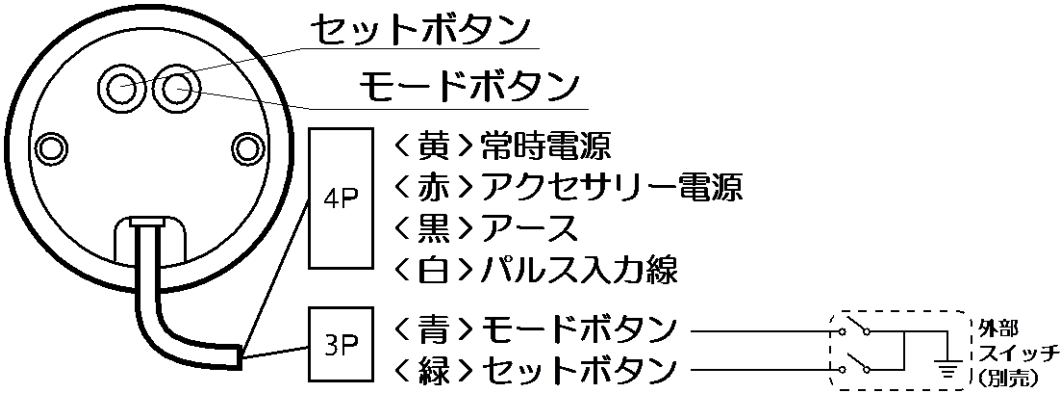
NO	パーツ名	サイズ (mm)	数量	NO	パーツ名	サイズ (mm)	数量
①	メーター本体		1	⑦	延長ハーネス	1200	1
③	V字ブラケット		1	⑧	エレクトロタップ		4
⑦	ワッシャ	M5	2	⑫	結束バンド	150	4
⑧	六角穴付ボルト	M５	2				



取付方法

1．配線の接続

サービスマニュアルを参考に以下の通りに配線を接続してください。



2．メーターの取り付け

付属のＶ字ステー等を使用して車両にメーターを固定してください。
振動の多い車両や取り付けの位置により本体に伝わる振動が大きくなってしまう場合は、防振ステーを使用するなどの対策をした上で取り付けしてください。

3．メーターの設定

モードボタンとセットボタンを２秒同時押しすることで設定モードに移行します。
この商品は２通りの方法により設定を行うことが出来ます。

設定方法①ＣＡＬ－ＡＵ：**1km 走行して設定**する方法
タイヤの外周長から１ｋｍ分のパルス数を算出し、そのパルス数に達するまで走行してボタンを押して設定します。

設定方法②ＣＡＬ－ＳＡ：**40km/h で走行して設定**する方法
純正等のメーターと併設し、40km/h で走行している最中にボタンを押して設定します。

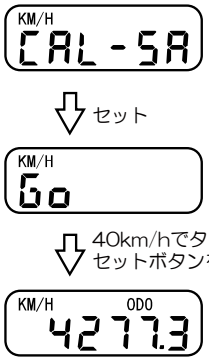
※設定の際に純正メーターとの併設が不可能な場合は保安基準に抵触しますので、
公道走行はせずに、メンテナンススタンド等を使用して設定を行ってください。
※メーター左の表示単位が「ｋｍ/ｈ」になっていることを確認してください。

①ＣＡＬ－ＡＵ

- タイヤの外周長を測定し、【１ｋｍ】÷【外周長（ｋｍ）】で出た数値が１ｋｍ走行した時のタイヤ回転数となります。
  例：外周が２０００mm の場合：1÷2,000×1,000,000＝500 回
- モードボタンで設定方法を選択し、ディスプレイに「ＣＡＬ－ＡＵ」の表示が出た状態でセットボタンを押します。
- ディスプレイに「GO」の表示が出ている事を確認した後、セットボタンを再び押すと測定が開始されます。
- 距離を測定する又はパルス数を確認して１ｋｍ走行します。

◇モニターに現在のパルス数が表示されるため、
【1 回転あたりのパルス数】×【１ｋｍ走行時のタイヤ回転数】
1km 走行分のパルス数を算出することが可能です。
例：１０回転した時に２００パルスで設定に 500 回転必要な場合
⇒200÷１０×５００＝10,000 パルス

- セットボタンを押すことで設定完了となり通常画面に戻ります。



②CAL－SA

- モードボタンで設定方法を選択し、ディスプレイに「ＣＡＬ－ＳＡ」の表示が出た状態でセットボタンを１回押します。
- 周囲の安全を確認し、**40ｋｍ/ｈで走行します。**
- セットボタンを押すことで設定完了となり通常画面に戻ります。

4．作動確認を行い、作動が不安定な場合や表示回転に異常がある場合は、前の手順をもう一度確認してください。それでも改善されない場合はＰ５のトラブルシューティングをご確認ください。

5．ハンドルを切った際や走行時に支障が無いよう、ハーネス類の取り回しと固定を行ってください。

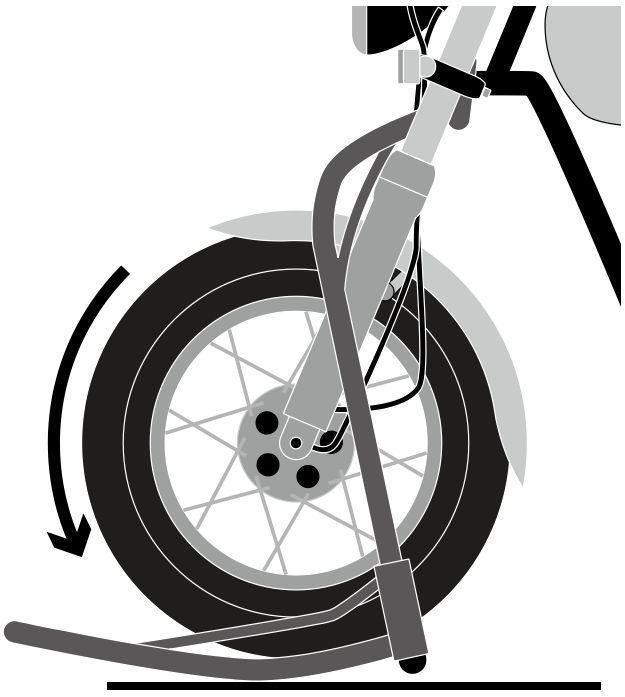
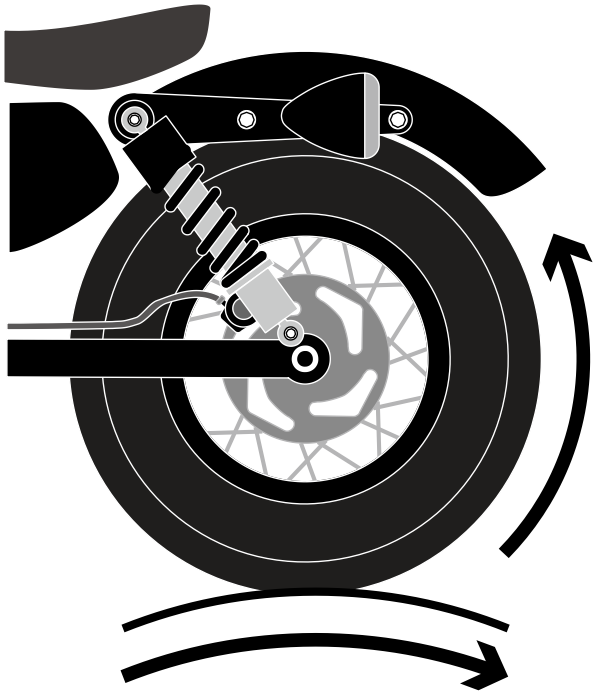
6．各部に異常が無いことを確認し、作業は終了です。

＜サービスデータ／各メーカー車体配線色／タイヤ回転数＞

車両メーカー	赤線（＋１２Ｖ）	黒線（アース）
ＨＯＮＤＡ	黒，赤/黒，黒/茶 等	緑 等
ＹＡＭＡＨＡ	茶，茶/青 等	黒 等
ＳＵＺＵＫＩ	オレンジ 等	黒/白
ＫＡＷＡＳＡＫＩ	茶 等	黒/黄 等
ＨＡＲＬＥＹ	オレンジ/白 等	黒 等

※参考データになります。車種により異なる場合がありますので、詳しくはサービスマニュアルをご参照ください。

実際の走行をしない場合の設定例

《 設定例：CAL-AU 》 車両：SR４００	《設定例：CAL-SA 》 車両：XL1200X
	
フロントスタンド等でタイヤが地面に接しない状態にジャッキアップします。 外周を測定し、１ｋｍ分のタイヤ回転数を計算します。 （例：外周 2043mm の場合→489.5 回転） ※外周はタイヤの銘柄や年式により異なるため、 必ずご自身の車両にて測定をしてください。	ＸＬ１２００Ｘはリアタイヤを回す事によりスピードメーターが作動する車両です。 シャーシダイナモや速度計のテスターを使用して、 実測で４０ｋｍ/ｈになる様にリアタイヤを回します。

トラブルシューティング

状態	症状	対応
針が振れてしまう	**〈電源に起因〉** ●針が断続的にビクんと大きく振り切れる、または完全に振り切れてしまうなど。 ※バッテリーが弱っている。または、レギュレーターが不調の場合には電圧が不安定となり、例えセルモーターが回る状態であっても瞬間的（ノイズ的）に電圧が上下に振れてしまうため、メーターの動きが不安定になります。	●この商品は、起動時に一度針が MAX まで振り切る初期作動モードが付いています。メーターに入る電圧が安定せず瞬時でも作動下限電圧を下回りますと、いったん電源をOFF にして再度電源をONにした状態となってしまうため、初期作動モードが働いてしまいます。下記の確認をしてください。 1.バッテリー及びレギュレーターのチェックをしてください。 ※新車であっても時々しかバイクに乗らないような場合は、バッテリーが弱り、電圧の低下を起こしやすくなります。ウインカーに連動して針が動いてしまう場合も、完全に電圧不足です。 ※レギュレーターの点検などは車両のサービスマニュアルを参照してください。 2.メーターの黒線（アース側）がボディアースになっている。 ※車体側のアース線に直接接続してください。また配線の接触不良がないか各部のチェックを行ってください。 3.P2 の不適合条件に入っていないか再確認してください。
針が振れてしまう	**〈振動に起因〉** ●エンジンの回転域、または速度や路面状況により、針がプルプル振れてしまう。	●メーター本体の防振対策を行ってください。（ラバーマウントや固定位置の変更など。） ※ある程度の振動には耐えられますが、振動の周波数によっては針が振れてしまいます。
走行中、またはエンジン停止時に針の位置が０になっていない	●針が途中で止まっている。または０の位置まで戻りきっていない。	●この症状は下記のことがあった場合などに起きます。配線接続を確認し、電源を ON にしてください。初期作動モードが働き、針が一度 MAX まで振り切れてから０の位置まで戻ります。 1.ステッピングモーターを使用しているため電源が入っていな状態でも、メーターに振動や衝撃が加わると針の位置が動いてしまいます。 2.メーターの作動中に電源が OFF になると、針がその位置で止まってしまいます。 ※電源を ON にしても初期モードが動かない場合は、各部の配線が接触不良を起こしていないか、電源のプラス・マイナス配線が間違っていないか確認してください。
針が全く動かない	電源 ON で作動しない。	●配線の点検を行ってください。全ての配線において接続間違いや接触不良などがないか確認してください。

★以上の点検をしても解決しない場合は、お買い上げの販売店様、弊社までご相談ください。

※メーター構造上、針が作動する場合は、基本的に商品不良というケースはほとんどありません。針が全く作動しない場合は、過電圧などによる内部回路の故障の可能性があります。

※お客様の車両に適合しないことに関するクレームは受けかねます。予めご了承ください。

東証JASDAQ上場 株式会社デイトナ　〒437-0226　静岡県周智郡森町一宮 4805
URL: http://www.daytona.co.jp
◎デイトナ商品についてのご質問、ご意見は「フリーダイヤルお客様相談窓口」
0120-60-4955 まで

【 MEMO 】

タイヤ外径（mm）　　設定用回転数

1÷（　　）×1,000,000＝（　　）

タイヤ１０回転分のパルス数　　設定用回転数　　設定パルス数

（　　）÷10×（　　）＝（　　）